

肝がなさ節（ちむがなさぶし）

↓									
四	七	五	七	工	五	中	工	五	中

四	四	四	○	四	合	四	上	中	工	合	五	七
				さとうがす		る		か		な		
				さ		さ						

工	合	五	四	合	中	工	上	合	上	中	工	合	乙
はだがなさ				が	な	さ	とうしかさ						び

四	○	四	上	工	中	合	王	上	中	上	四	工	合	工	五
か				さ	び	ちむぬか				な	さ				

七	○	五	七	五	工	合	五	中	工	上	○	中	王	上
ちむ	がなさ			ら	や						うみー	かなさら		

四	工	合	工	五	四	七	五	七	工	五	中	工	五
や													

合	工	上	中	四	四	四	○							

一、里がするかなさ 肌がなさ かなさ 二、肝や肝しちど もてなしんさびる
 年重び重び肝ぬかなさ 誠肝 我肝 里がまに
 肝がなさらや 思みかなさらや 肝がなさらや 思みかなさらや

三、二人が情花 花咲かす夜や 四、世間や走川の 夢の間ややても
 ゆくん肝がなさ 勝てかなさ 互に肝がなさ しちよて浮世
 肝がなさらや 思みかなさらや 肝がなさらや 思みかなさらや

五、男生まれとて 女生まれとて
 かなさねん者や ただぬ葉がら
 肝がなさらや 思みかなさらや